



来年4月の就農に向け準備を進めます

長期研修生の就農から移住・定住までバックアップ くにみ農業ビジネス訓練所で説明会を開催

訓練所長期研修生向けの説明会を8月24日に開催しました。当日は長期研修生6名が全員参加。来年4月からの就農に向け、今後のスケジュールや農地を確保するための手続きなどの説明とともに、農地や空家の情報提供を行いました。研修生は、就農をきっかけに国見町への移住・定住を希望していることから、町では関係機関等と連携しバックアップしていきます。



町民の新たな憩いの場になることが期待されます

「どぶろく特区」制度を活用 農園レストラン「彩季亭」が完成

農園レストラン「彩季亭」は8月24日に完成内覧会を行いました。「彩季亭」は、昨年に町が内閣府から認定を受けた「どぶろく特区」の制度を利用。町内で育てたコメを使用し、レストラン内で「あつかしのどぶろく」を醸造・販売します。このどぶろくは、季節の地元食材をふんだんに使った和食料理とともに提供されます。「彩季亭」は9月中旬にオープン予定です。



将来の選択肢を広げる授業を行います

子どもたちの「やってみたい」を応援 「放課後塾ハル小学部」の授業がスタート

放課後塾ハル小学部の授業が8月25日からスタートしました。国見小学校5・6年生約40名が受講、週3回に分けて少人数制で授業を行います。算数の授業を基本として、学校の宿題や子どもたちの興味関心のあるテーマを探究する「テーマ学習」にも取り組むなど、子どもたちの「学力」だけでなく、「生きる力」も育むような授業が行われます。



まずは初戦突破を目指し奮闘を誓いました

昨年以上の成績を目指し決意表明 市町村対抗軟式野球国見町チームが表敬訪問

市町村対抗福島県軟式野球大会に出場する国見町チームが、8月27日に引地真町長を表敬訪問しました。佐久間裕明チーム代表が「昨年はベスト16でしたが、今年はそれ以上を狙って力の限り全力でプレーします」と述べた後、14年ぶりに新調したユニフォームの紹介も行われました。その後、引地町長より町旗が授与されました。※5ページにチーム紹介記事



お祭りなどの地域事業で活用されます

宝くじの助成で地域活性化 徳江北町内会で法被や紅白幕などの備品を整備

徳江北町内会では、宝くじのコミュニティ助成事業を活用し、法被や紅白幕などの備品を整備しました。これらの備品は「徳江豊年盆踊り」等で使用されるほか、徳江地区の地域活性化や次世代の子どもたちへの伝統行事の継承を目的とした事業に使用されます。今回の整備により、今後一層の継続的な取り組みが期待されます。



株式会社エアウィーヴ福島工場地鎮祭の様子

国見町に新たな生産拠点を構築 株式会社エアウィーヴ福島工場地鎮祭

株式会社エアウィーヴ福島工場の地鎮祭が7月27日に行われました。同社は、マットレスパッド「エアウィーヴ」等を製造販売。東京2020オリンピックでは選手村に約2万床の寝具を導入しました。既存の生産拠点では生産需要に応じることが難しく、関東以北向けの生産拠点を構築するため、国見町に進出を決めました。工場は令和4年2月より操業予定。



宇佐見局長（右）から感謝状を手渡される引地町長（左）

県北管内トップの個人県民税収納率 15回連続で国見町に知事感謝状

令和2年度における個人県民税収納率が優良として、国見町に知事感謝状が贈呈されました。贈呈式は8月2日に国見町役場で行われ、宇佐見明良福島県県北地方振興局長から引地真町長に感謝状が手渡されました。

令和2年度の収納率は現年課税分と滞納繰越分を合わせて99.19%で、知事感謝状の受賞は今回で15回連続となります。



友だちと一緒に夏の思い出づくりができました

子どもたちの思い出づくりに 国見っ子わんぱく広場（夏まつり）

国見っ子わんぱく広場（夏まつり）が8月10・11日に国見小学校体育館で行われ、小学1年生から3年生の約60人が参加しました。夏まつり会場には射的やお菓子釣り、くじ引きや巨大迷路などたくさんの出店が並びました。

子どもたちはそれぞれに出店を巡り、景品のお菓子や手作りのおもちゃを手にとると嬉しそうに目を輝かせていました。



プレゼントされた絵本を手にする親子

親子で絵本を開くきっかけづくり ブックスタートで絵本をプレゼント

生後3か月の乳幼児を対象としたブックスタートが8月19日に観月台文化センターで行われました。当日は3か月乳幼児健診に訪れた、4組の親子に絵本がプレゼントされました。「絵本を開く時間の楽しさや大切さ」を親子で共有し実践してもらうため、この取り組みは生後3か月を迎えた乳幼児全員に対して行われています。



「じゃんけん体操」など様々な技法を学びました

介護予防活動に役立てて 地域づくり介護予防講座

地域づくり介護予防講座が8月23・30日に観月台文化センターで開催されました。町レクリエーション協会会長の鈴木道代さんを講師に迎え、アイスブレイキングの講習が行われました。各地区の通いの場や居場所等で実践できるような体操やゲームなど、参加した代表者や介護予防サポーターが実際に体験しながら技法を学びました。